

## 「ベトナムランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDM」の排出権発行 ～ 一回の排出権発行数量として世界最大、随伴ガス回収・有効利用で世界初 ～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、グループの石油開発プロジェクト会社がオペレーターとして操業するベトナムのランドン油田において、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を削減するプロジェクトを推進しております。本プロジェクトは、2006年2月に国連機関よりCDM(クリーン開発メカニズム)として承認されておりますが、この度、2001年12月から2005年12月における4年間のCO<sub>2</sub>削減量449万トンに対して、国連機関より排出権が発行されましたのでお知らせいたします。今後は2006年1月以降の削減量について、毎年排出権発行の審査を受け、順次、排出権発行の承認を得ていく予定であり、2011年までの10年間で約800万トンの排出権発行を見込んでおります。

### 記

1.本CDMプロジェクトの概要 ランドン油田(海上)での原油生産の際に発生する随伴ガスは、従来、海上で燃焼させていましたが、この随伴ガスを回収し、新たに海底に敷設したパイプラインにより、発電燃料としてベトナム国内の発電所等に供給しています。

#### 2.特徴

##### (1)一回の排出権発行数量として世界最大

CO<sub>2</sub>や代替フロンなどの温室効果ガスを削減するCDMプロジェクトは、これまで世界で948件が登録されており、この内304件で排出権が発行されております。排出権の一回の発行数量としてはこれまで最大で406万トンでしたが、本プロジェクトはこれを上回る449万トンの排出権が発行され、世界最大となります。また、これまで複数回排出権が発行されたプロジェクトと比較すると、累積での排出権発行数量については世界第10位、この内CO<sub>2</sub>削減\*のCDMに限れば世界第1位となります。

\* CO<sub>2</sub>削減のCDM: 省エネルギー、風力発電、水力発電 等

##### (2)油田における随伴ガス回収・有効利用による排出権発行は世界初

随伴ガス回収・有効利用による排出権発行は世界初となります。

##### (3)ベトナムでのCDMにおいて初の排出権発行、ベトナムの持続可能な発展に高く貢献

エネルギー有効活用によるCO<sub>2</sub>削減プロジェクトは一般に、温暖化防止のみならずエネルギーの自給率の向上に役立つため、途上国の持続可能な発展に資すると言われておりますが、本プロジェクトはCO<sub>2</sub>を削減するCDMとして、またベトナムで初めて排出権発行を遂げたCDMとして、ベトナムの持続可能な発展に高く貢献しています。

##### (4)地球規模でのCO<sub>2</sub>削減に貢献

当社が本プロジェクトをモデルケースとして確立したCDM方法論は、現在審査中のものも含め世界19のプロジェクトで使われております。これらプロジェクトがすべて実現した場合、年間800万トン以上のCO<sub>2</sub>削減が見込まれており、CDM方法論確立を通じて地球規模でのCO<sub>2</sub>削減に貢献しております。

##### (5)全工程を自社で実施

当社は、方法論の確立、CDMのプロジェクト設計書の作成、CDM理事会への申請・承認から、実際の測定、排出権発行に至るまで、全工程を自社で行いました。

以上

#### <参考>

##### ■ランドン油田の概要

ランドン油田はベトナム南部沖合の15-2鉱区に位置する海上油田であり、当社の石油開発部門である新日本石油開発(株)が出資している日本ベトナム石油(株)がオペレーターとなり、コノフィリップスやベトナム国営石油会社と共に、1998年8月より原油の生産を開始し、2005年6月に累計原油生産量が1億バレルに達しました。現在の生産量は46,000バレル/日(2007年1~12月平均)です。

##### ■ランドン油田の権益比率

日本ベトナム石油(株) 46.5%

コノコフィリップス社 36.0%

※PVEP社(Petrovietnam Exploration and Production) : ベトナム国営石油会社の子会社

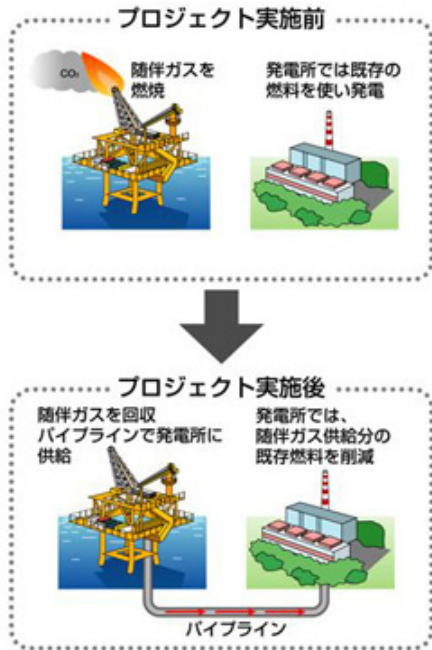
■日本ベトナム石油(株)の株主構成

新日本石油開発(株) 53.13%

新日石資源投資(株) 43.94%

三菱商事(株) 2.93%

<CDMプロジェクト概要>



<ランドン油田写真>



<ランドン油田賦区図>

